

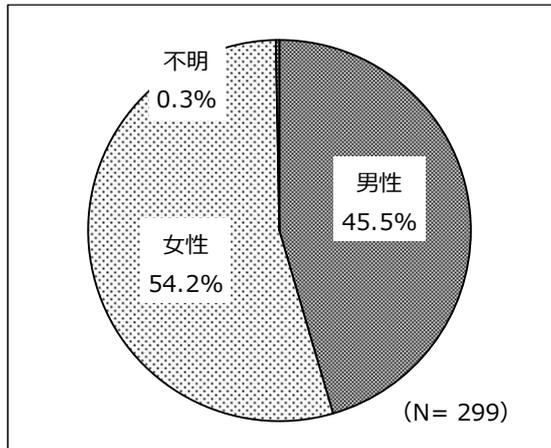
大学生アンケート調査結果概要

1 調査実施要領

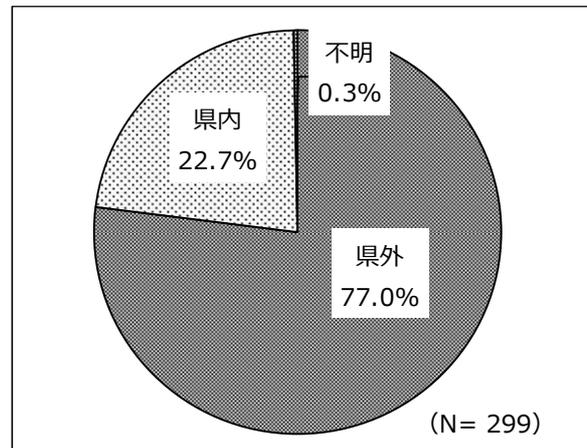
調査時期	令和元年 7 月
回 答 数	302 件 (うち有効回答数 299 件)

2 回答者属性

(1) 性別



(2) 出身地



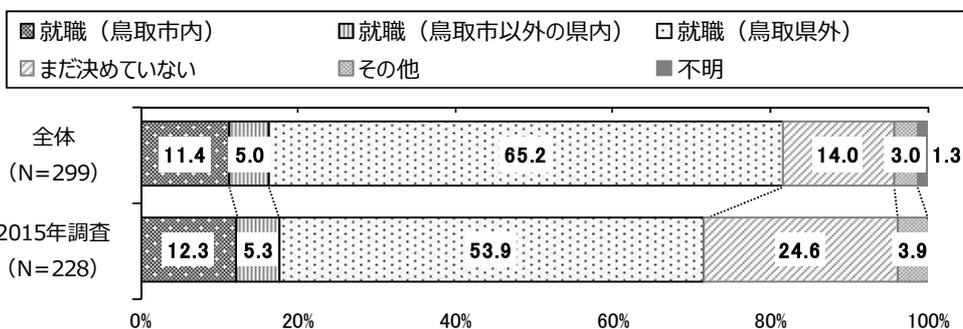
3 主な集計結果

【卒業後の進路希望】

◇「就職（鳥取県外）」が65.2%で最も高く、以下、「まだ決めていない」が14.0%、「就職（鳥取市内）」が11.4%、「就職（鳥取市以外の県内）」が5.0%の順となっている。

◇2015年調査と比較すると、「就職（鳥取県外）」の割合が11.3ポイント増加しており、「まだ決めていない」が10.6ポイント減少している。また、「就職（鳥取市内）」、「就職（鳥取市以外の県内）」は、それぞれ割合が若干減少しているが、大きな変化はみられない。

現在考えている進路／全体、2015年調査との比較

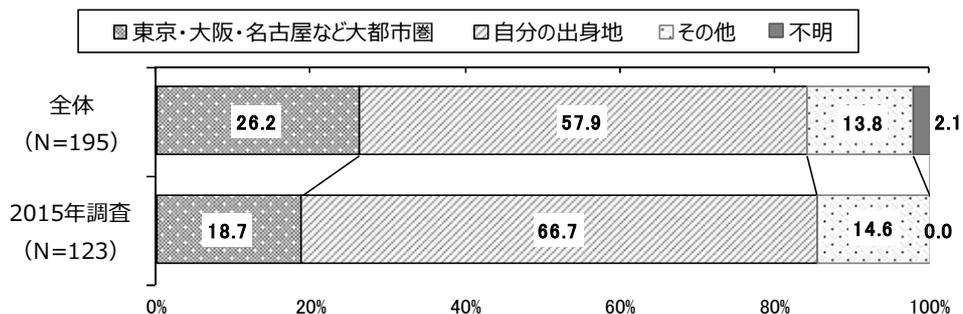


【県外就職の希望エリア】

◇「自分の出身地」が57.9%と最も高く、次いで「東京・大阪・名古屋など大都市圏」が26.2%となっている。

◇2015年調査との比較をみると、「自分の出身地」が8.8ポイント減少し、「東京・大阪・名古屋など大都市圏」が、7.5ポイント増加している。

県外就職の希望エリア／全体、2015年調査との比較



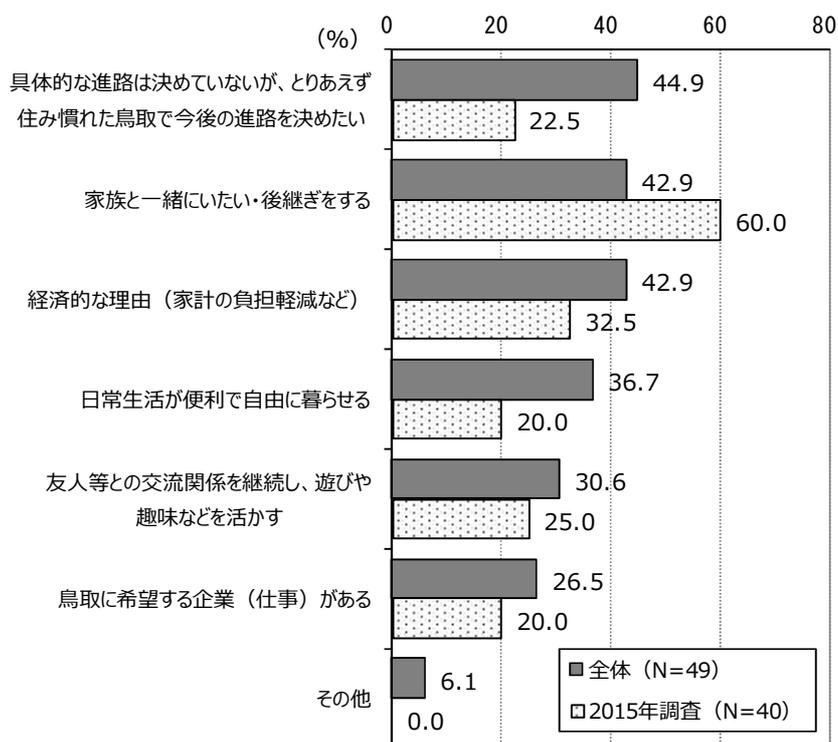
【県内（市内）へ就職しようと思う理由】

◇「具体的な進路は決めていないが、とりあえず住み慣れた鳥取で今後の進路を決めたい」が44.9%と最も高いものの他の項目との大きな差はなく、全体的に回答が分散している。

◇2015年調査と比較すると、「具体的な進路は決めていないが、とりあえず住み慣れた鳥取で今後の進路を決めたい」が大幅に増加したほか、「経済的な理由（家計の負担軽減など）」、「日常生活が便利で自由に暮らせる」など、全般的に回答割合が増加している。

◇一方で、2015年調査で最も高かった「家族と一緒にいたい・後継ぎをする」の回答割合は減少している。

県内（市内）へ就職しようと思う理由（複数回答）／全体、2015年調査との比較



【県外へ就職しようと思う理由】

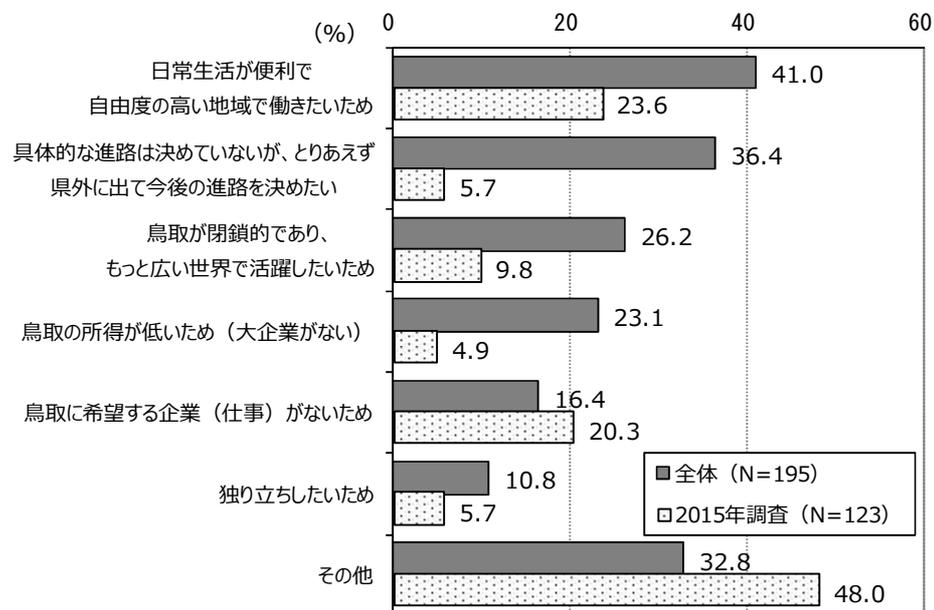
◇「日常生活が便利で自由度の高い地域で働きたいため」が41.0%で最も高く、これに「具体的な進路は決めていないが、とりあえず県外に出て今後の進路を決めたい」、「鳥取が閉鎖的であり、もっと広い世界で活躍したいため」が続いた。

◇「その他」について具体的な記述を整理すると、「地元（出身地）に戻りたい・地元で働きたい（就職したい）ため」、「実家があるから（実家から通える場所で働きたい）」が多く挙がっており、出身地での就業・生活を希望する傾向がみられる。

◇総じて、収入面、職業・職種面よりも、生活面や環境面を重視して県外での就職を希望する傾向がみられる。

◇2015年調査と比較すると、前回1位の「日常生活が便利で自由度の高い地域で働きたいため」の順位に変更はないものの、17.4ポイントと大幅に増加している。また、「具体的な進路は決めていないが、とりあえず県外に出て今後の進路を決めたい」、「鳥取が閉鎖的であり、もっと広い世界で活躍したいため」の割合もそれぞれ大幅に増加している。

県外へ就職しようと思う理由（複数回答）／全体、2015年調査との比較

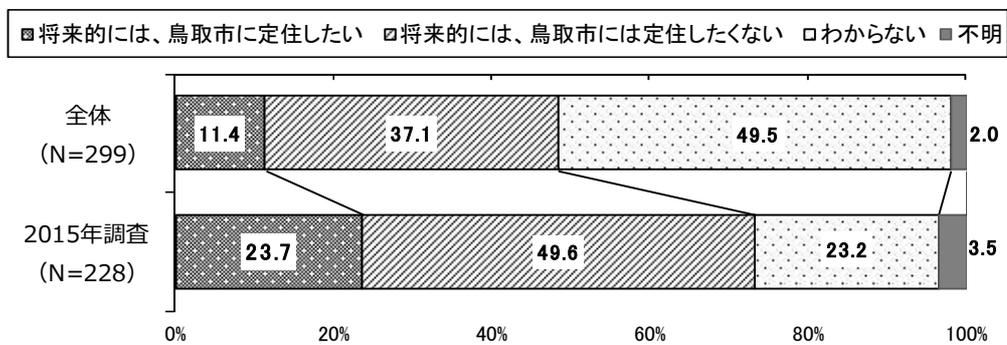


【鳥取市への定住意向】

◇将来的な鳥取市への定住意向については「わからない」が49.5%で最も高く、次いで「将来的には、鳥取市には定住したくない」が37.1%、「将来的には、鳥取市に定住したい」が11.4%となっている。

◇2015年調査と比較すると、「わからない」が大幅に増加しており、これに伴い、「将来的には、鳥取市に定住したい」、「将来的には、鳥取市に定住したくない」の回答割合がともに減少している。

将来的な鳥取市への定住意向／全体、2015年調査との比較



【鳥取市には定住したくない理由】

◇「買い物・レジャー・交通手段など、日常生活に利便性が少ない」が74.8%と最も高く、2015年調査と比較して約2倍に増加している。

◇「その他」について具体的な記述を整理すると、「地元に戻りたい（地元で暮らしたい）」が多く挙がっており、出身地での生活を希望する傾向がみられる。

◇2015年調査で3番目に高かった「所得が低く、雇用&就業機会が不十分で、暮らす上で不安定である」も回答割合が25.4ポイントの増加となっている。

鳥取市には定住したくない理由（複数回答）／全体、2015年調査との比較

